

「会員短信 50」

「八十六歳の初個展」

吉川正紀子

私は子どもの頃から花が大好きです。最近、ドライブや散歩で出会った花を、スマホのカメラでパチリと撮影して楽しんでいます。友達が「俳句もしてるんだから、写真に俳句をつけて展覧会をしてみたら」と言ってくれたので、その気になって選んでみると、好きな写真は二十四点になりました。会場は、いつも句会をしている道後の友輪荘のロビーをすぐに予約し、額縁は百円ショップで揃えました。

燃え尽きるまでを覚悟の彼岸花

爛熟の彼岸花の赤に圧倒されたのでした

垂れ下がりがたる乳房と藤の花

「共感します」との反応がとても多かったです

スタンダードが好きで紫花菖蒲

この句は花のつぶやきです

私を童女にさせるチューリップ

チューリップ畑で感じたまを詠みました

秋桜作詞作曲さだまさし

さだまさしの名曲が自然に浮かびました

躑躅^{つづじ}の字書くのはちょっと勘弁ね

花に何気なく語りかけていて出来ました

個展は、五月十五日～六月十四日の一か月間で、全ての写真に俳句を添えました。写真も句も好評で、すっかり有頂天。愛媛新聞や愛媛CATVでもご紹介いただくなど、思わぬ大きな反響がありました。写真も俳句も、対象に近付いて対話することで生まれるのだということに改めて気が付きました。